

Alexander Kobrin

アレクサンダー・コブリン

ピアノ・リサイタル

Piano Recital

成熟の時 コブリンが弾く
ショパンのバラード全曲

PROGRAM (予定)

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第27番 小短調 op.90

Beethoven: Piano Sonata No. 27 in E minor, op. 90

シューベルト：6つの楽興の時 op.94, D780

Schubert: 6 Moments musicaux, op.94, D780

ショパン：4つのバラード

Chopin: 4 Ballades

第1番 小短調 op.23

Ballade No. 1 in G minor, op. 23

第2番 ヘ長調 op.38

Ballade No. 2 in F major, op. 38

第3番 変イ長調 op.47

Ballade No. 3 in A flat major, op. 47

第4番 ヘ短調 op.52

Ballade No. 4 in F minor, op. 52

photo : Alyona Vogelmann



プロムナード・コンサート



20th anniversary

兵庫県立芸術文化センター
開館20周年

2025 **12/20** (土) 2:00PM 開演 (1:15PM 開場) 兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール
A 3,000円 B 1,000円 (全席指定 / 消費税込) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口徒歩15分 / JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス **0798-68-0255** (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

一般発売
7/13(日)

チケット
予約

●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp>

芸術文化センター会員先行予約受付開始 7/12(土)

●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com> ●イープラス <https://eplus.jp>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター [7/15(火)より、残席がある場合のみ]

※未就学児童はご入場いただけません。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。
※やむを得ない事情により曲目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。 主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



兵庫県立
芸術文化センター

関西から



煌めく音色と大胆な感性で贈る最高のクリスマスプレゼント

幾多の受賞歴を誇るロシア生まれのピアニスト、アレクサンダー・コ布林。2000年ショパン国際ピアノコンクールで第3位入賞、未曾有のハイレベル争いとなった第5回浜松国際ピアノコンクールでは、プレハッチと最高位を分け合った。そして2005年、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて優勝を果たした年、芸術文化センターオープニングシリーズで初登場。以来、ソロリサイタルやPACとの共演など、出演のたびに新たな感動で会場を包み、我々の心を掴んで離さない。アンコール後にコ布林はいつもこのように話す。「兵庫の劇場のお客様は素晴らしい」と。開館から20年、お客様に愛されて続けてきたコ布林は、今年12月、クリスマスプレゼントのようなプログラムで再び登場する。

ベートーヴェン「ピアノ・ソナタ第27番」。聴力の喪失や経済的な苦悩など、スランプ状態の時期に作曲されたが、ロマン派を先取りした曲想は非常に高く評価され、のちにシューベルトやシューマンに大きな影響を与えた傑作である。

続く2曲目は、ベートーヴェンに憧れを抱いていたシューベルトの「6つの楽興の時」。もっとも有名な第3番は、初版時には『ロシア風エール(ロシア風歌曲)』というタイトルが付けられており、歌曲王シューベルトの魅力の詰まった多くの人に親しまれる作品。

そして、コ布林のショパンは外せない。独創性豊かで規模の大きな4つの《バラード》。ピアノを弾く人や聴く人に愛され続けるバラード1番から4番。また第1番はフィギュアスケートのオリンピック金メダリスト羽生結弦選手がショートプログラムで使用したこともあり、クラシック音楽ファンのみならず、幅広く知られる名曲である。

コ布林がお贈りする贅沢なプログラムで、愛にあふれた素敵なひとときを。

2022年10月のリサイタル写真 ©飯島 隆



photo : Alyona Vogelmann

アレクサンダー・コ布林 [ピアノ] Alexander Kobrin, piano

1980年モスクワ生まれ。グネーシン音楽学校、モスクワ音楽院に学び、タチアナ・ゼリクマン、レフ・ナウモフなどに師事。ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール優勝、ブゾーニ国際ピアノコンクール優勝、浜松国際ピアノコンクール最高位、スコットランド国際ピアノコンクール優勝、ショパン国際ピアノコンクール第3位など、多くの国際コンクールで受賞多数。ニューヨーク・フィルハーモニック、東京交響楽団、ロシア・ナショナル管弦楽団、ペオグラード・フィルハーモニー管弦楽団、イギリス室内管弦楽団、

ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、ダラス交響楽団、ベルリン交響楽団、シカゴ・シンフォニエッタ、スウェーデン放送交響楽団、バーミンガム市交響楽団、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、BBC交響楽団等と共演。共演指揮者は、ミハイル・プレトニョフ、ミハイル・ユロフスキ、マーク・エルダー、ヴァシリー・シナイスキー、ジェイムズ・コンロン、クラウス・ペーター・フロール、アレクサンドル・ラザレフ、ワシリー・ペトレンコ、ブラムウェル・トーヴェイなど多数にのぼる。NYのカーネギーホール、エイブリー・フィッシャー・ホール、ワシントンDCの

ケネディ・センター、ロンドンのロイヤル・アルバート・ホール、ウイグモアホール、パリのルーヴル・オーデトリウム、サル・ガヴォー、サル・コルトー、ミュンヘンのヘラクレスザール、ベルリン・フィルハーモニーホール、モスクワ音楽院大ホール、香港の上環シビックセンター、ミランのヴェルディ・ホールなど、世界各地の主要ホールで演奏。クライバーン・シリーズ、ワシントン・パフォーマンス・アーツ・ソサエティ、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ラヴィニア音楽祭、ベートーヴェン・イースター音楽祭、ブゾーニ音楽祭、ルール・ピアノ・フェスティバル、Festival Musique dans le Grésivaudan、ニューヨークピアノフェスティバルなどでリサイタルほか、日本、中国、台湾でも定期的にツアーを行っている。教育にも力を注ぎ、2003-2010年グネーシン音楽学校、コロンバス州立大学シュオブ音楽学校、2013-2017年ニューヨーク大学スタインハート校を経て、2017年7月よりイーストマン音楽学校にて教鞭をとる。ヨーロッパ、アジア各地でマスタークラスも開催、日本、中国、台湾の国際ピアノシリーズや音楽学校でレッスンを行うほか、2020年よりエストニアにてHiiumaa Homecoming Festivalを共同で主宰している。ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール、ブゾーニ国際ピアノコンクール、浜松国際ピアノコンクール、ブリュートナー国際ピアノコンクール、フェアバンクスのEコンクール、モスクワのネイガウス国際ピアノフェスティバルなど、多くの国際コンクールの審査員も務める。レコーディングは、ハルモニア・ムンディ、クォーツ(Quartz)、セントー(Centaur)から幅広いレパートリーでリリースしており、シューマン・アルバムや、クライバーンコンクールのリリースをはじめ、いずれも高い評価を得ている。2010年にアメリカに移住し、2015年アメリカ国籍を取得。シゲルカワイアーティスト。



プロムナード・コンサートってなあに？

プロムナード・コンサートとは、1830年代のイギリス・ロンドンなどで開催されていた野外コンサートのこと。お茶を飲んだり歩き回ったりしながら聴く気軽なコンサートだったようです。芸術文化センターでも、散歩の途中にちょっと立ち寄るような感覚で、気軽に楽しんでもいただけるコンサートを目指して、一流アーティストの演奏を手軽な価格でお届けしています。

